

## 改善計画・結果報告書

平成21年 5月21日

評価会議議長 殿

情報基盤センター長  
中 村 高 遠

組織評価に関する実施要項第10に基づき、平成20年度に実施した組織評価（自己評価及び外部評価）結果に係る要改善事項について、次のとおり改善計画・結果を報告します。

要改善事項
2. 活動の実施体制について 静岡大学の規模を考えると総合情報処理センターの規模が若干小さいと考えられる。 特に災害などの緊急時の体制を整備することが求められる。
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
情報基盤機構の設置に伴い、抜本的に改善を図る。 ・組織改編により、実質的に規模を拡大する。 ・緊急時対応については、全学活動と積極的に連携を図る。
改善結果
・平成21年4月から情報基盤機構及び情報基盤センターを設置し、規模の拡大を図った。 ・大災害時の事業継続（BCP）システムの開発・実証試験を完了し、平成22年度情報基盤更新時に全学適用の見通しを得た。また、防災対策の一環として安否確認システムの開発・実証実験を完了し、全学適用の見通しを得た。

要改善事項
4. 教育・研究について 今後ますます業務量が増加することを考えるとスタッフの増員が望まれる。
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
情報基盤機構の設置に伴い、抜本的に改善を図る。 ・情報基盤機構において全学的見地から、要員の適正配置をはかる。
改善結果
・平成21年4月から情報基盤センターに特任教授、客員教授及び客員准教授、各1名を採用し、人員の強化を図った。

要改善事項
<p>6. 財務について</p> <p>センターの業務量の多さと今後の増大を考えると今後予算増加が望まれる。 同時に、センター全体の経費を削減するためにもセンターの効率的運営が望まれる。</p>
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
<p>情報基盤機構の設置に伴い、抜本的に改善を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学的予算および業務とセンター独自業務の切り分けを効率的に進めることにより、情報基盤機構におけるセンターの活動の効率化を図る。</li> </ul>
改善結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年度から全学的予算とセンター予算を分け、センターの活動に必要な予算を確保した。</li> </ul>

要改善事項
<p>7. 管理・運営について</p> <p>IT基盤重要度がますます高くなることを考えると今後のセンター運営のために人員強化が求められる。また専任のセンター長、副センター長を置くことも検討するべきだと考える。</p>
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
<p>情報基盤機構の設置に伴い、抜本的に改善を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専任のセンター長および副センター長を配置する。</li> </ul>
改善結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年度からセンター専任教員（2名）を副センター長に任命した。</li> </ul>

要改善事項
<p>その他</p> <p>今後のセンターを取り巻く急激な環境変化に迅速に対応できる体制を作ることが必要である。そのためにはCIOとしてのセンター長を理事・副学長クラスのポストとすることも必要であると思う。</p>
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
<p>情報基盤機構の設置に伴い、抜本的に改善を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報基盤機構長をCIOとすることにより、対応力を強める。</li> </ul>
改善結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報基盤機構長にCIO（研究・情報担当理事、副学長）を任命した。</li> <li>・情報基盤センター長にCIO（兼任）を任命した。</li> </ul>

要改善事項
<p>全体として</p> <p>今後のセンター人員強化および予算の増額が望まれる。</p>
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
<p>情報基盤機構の設置に伴い、抜本的に改善を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報基盤機構により情報戦略の構築の中で適正な人員配置を計画する。</li> </ul>
改善結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年4月から情報基盤センターに特任教授、客員教授及び客員准教授、各1名を採用し、人員の強化を図った。</li> <li>・平成21年度から全学的予算とセンター予算を分け、センターの活動に必要な予算を確保した。</li> </ul>